



サノヤスホールディングス株式会社

2027年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料

2026年10月29日

Sanoyas

1. 決算概要
2. セグメント別業績
3. トピックス

1.決算概要



(百万円)	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比	2027年3月期 予想
売上高	11,014 (10,540)	13,008 (12,345)	1,993 (1,804)	30,000
営業利益	△127 (△170)	127 (115)	255 (285)	1,000
経常利益	△84	114	199	1,000
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	△88	176	265	800

※ () 内は、2025年6月にグループ入りした小寺電子製作所及び、
2025年7月にグループ入りしたヤマガタ共同の2社を除いた数値。
上記2社を除いた既存会社の業績は、増収増益。

1. 決算概要
- 2. セグメント別業績**
3. トピックス

2-1.セグメント別業績・概要



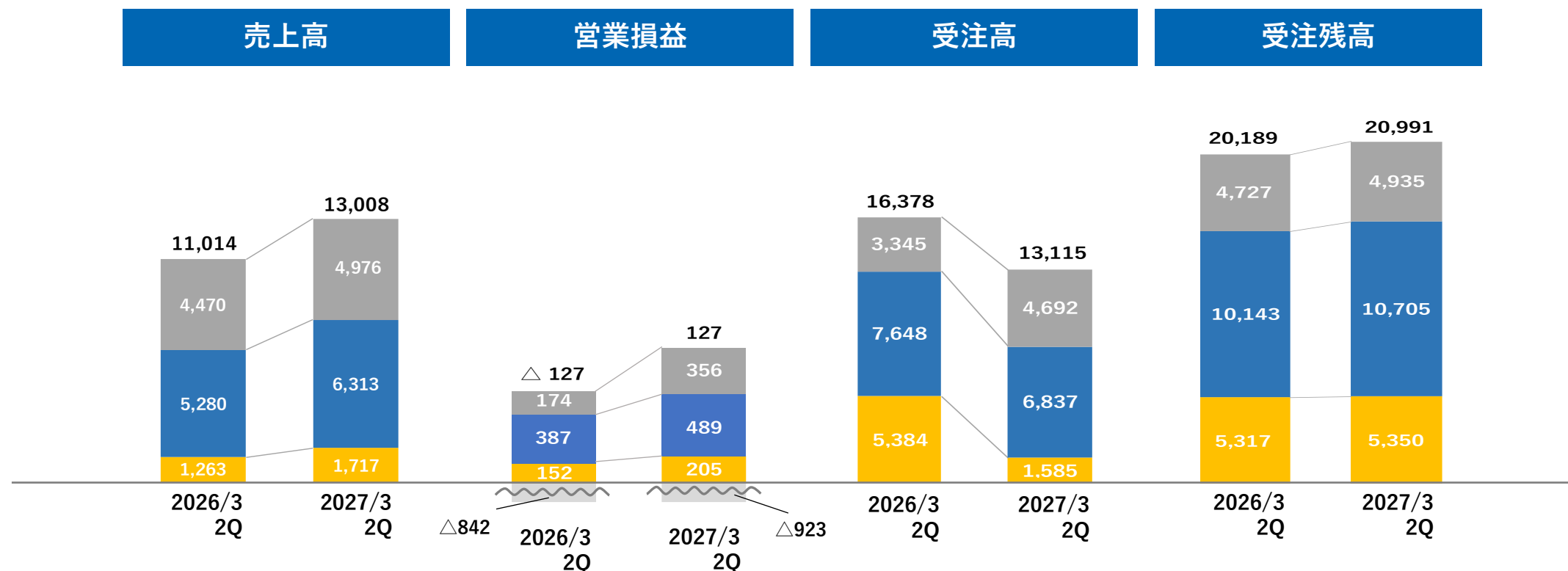
サノヤスホールディングス株式会社

増収・増益、受注高減少、受注残高増加。2021年度の造船譲渡以来初の中間期における黒字転換。

- ・売上高は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工が好調であったこと、乳化・攪拌装置の製造や各種産業機械部品の製造および遊園地遊戯機械設備の製造が堅調に推移したことにより、増収。増収に伴い営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに前年同期比で増益となり、黒字転換。中間期において黒字となるのは、2021年度に造船事業を譲渡して以来、初めてのことになる。
- ・受注高は純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工や各種産業機械部品の製造、空調・給排水・衛生設備の設計及び施工の受注が堅調に推移したものの、レジャーセグメントにおいて前年度に複数の大口案件を受注した反動により、前年同期比では減少。
- ・受注残高は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造で受注が積み上がったことから、前年同期比で増加。

- 製造業向け
- 建設業向け
- レジャー
- 本社部門

(百万円)



製造業向けセグメント

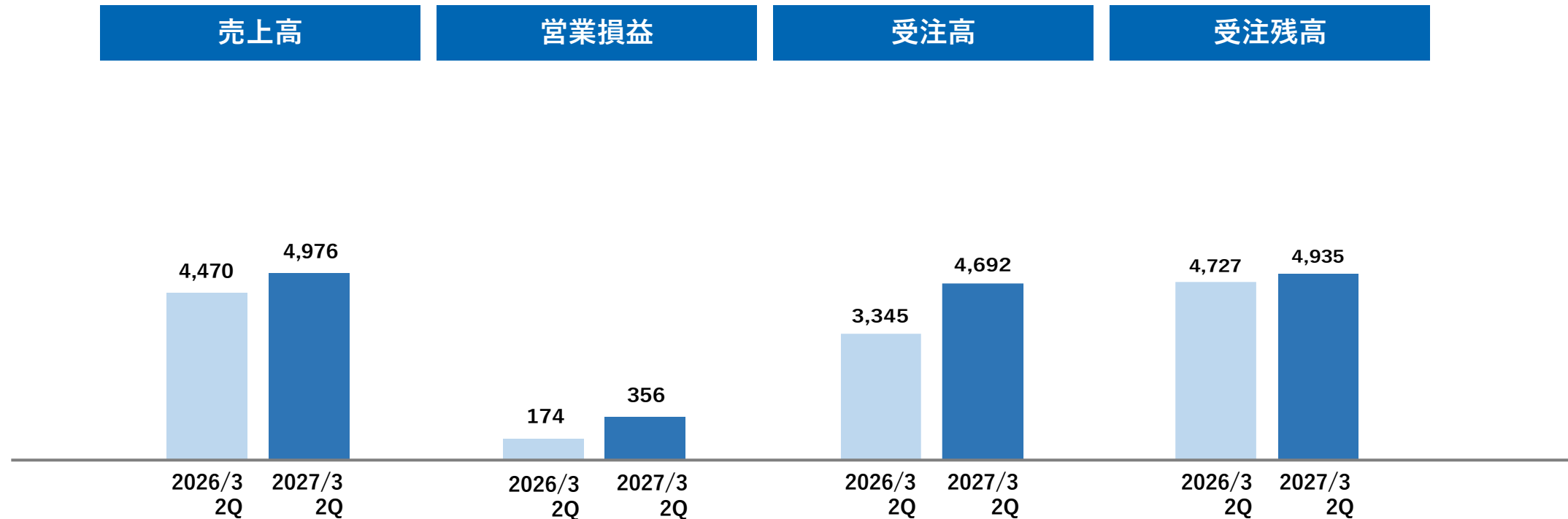


2-2.セグメント別業績・製造業向け



- ・売上高・営業利益は乳化・攪拌装置の製造や各種産業機械部品の製造及び組立が好調であったことから増収、増益
- ・受注高は純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工や各種産業機械部品の製造及び組立の受注が堅調で前年同期比で大幅に増加、受注高の増加に伴い受注残高も増加

(百万円)



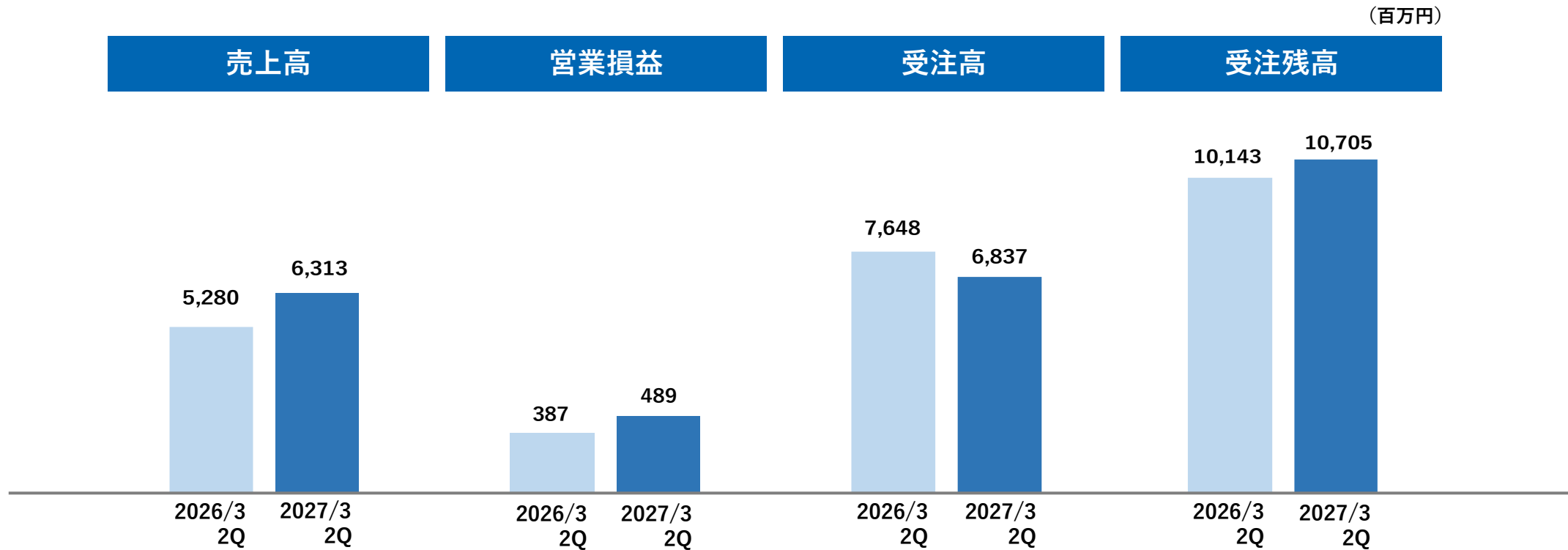
建設業向けセグメント



2-3.セグメント別業績・建設業向け



- ・売上高は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や機械式駐車装置の製造及びメンテナンス、通信インフラ向け配電盤・分電盤等の製造が好調に推移したことから増収、営業利益は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工の増収を主因に増益
- ・受注高は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工の受注が好調であった一方、建設工事用エレベーターの受注が低調であったこと、機械式駐車装置の製造及びメンテナンスの受注が前年度の好調な受注の反動により減少したことから、セグメント全体としては減少。受注残高は、空調・給排水・衛生設備の設計及び施工の受注が積み上がったことから、前年同期比で増加



レジャーセグメント

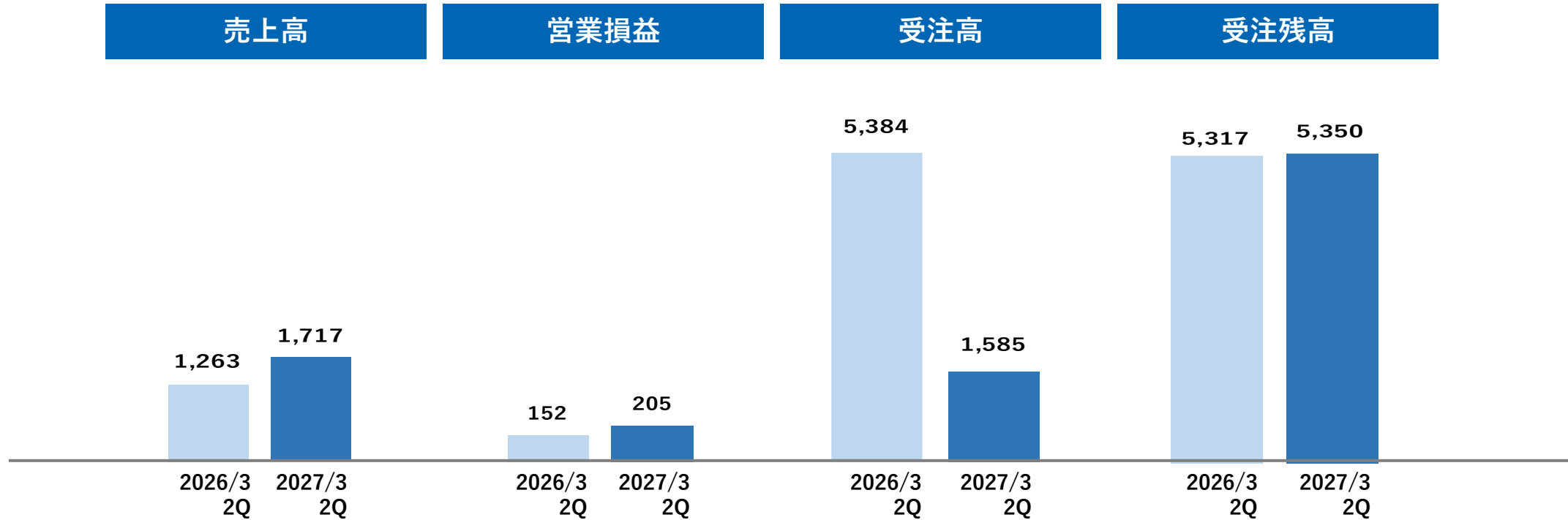


2-4.セグメント別業績・レジャー



- ・売上高・営業利益は遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンスが堅調に推移したことから増収増益
- ・受注高は前年度に複数の大口遊園地遊戯機械設備を受注した反動により前年同期比で大きく減少したが、受注残高は高水準を維持

(百万円)



1. 決算概要
2. セグメント別業績
3. **トピックス**

サノヤス・エンジニアリング メッシュフェンス「セキュアガード SL2X」を国内で初めて納品

サノヤス・エンジニアリングは、メッシュフェンス「セキュアガード SL2X (SecureGuard SL2X)」を国内で初めて納品しました。

本製品は、英国BARKERS FENCING社製の侵入・切断防止メッシュフェンスです。セキュリティレートLPS 1175 B3 およびC1試験品として高い防護性能を備えているため、データセンターをはじめとした気密性の高い施設、重要インフラなどの外周対策に適した製品となっています。

今回納品したデータセンターについても、高い防護性能などが評価されての採用となりました。

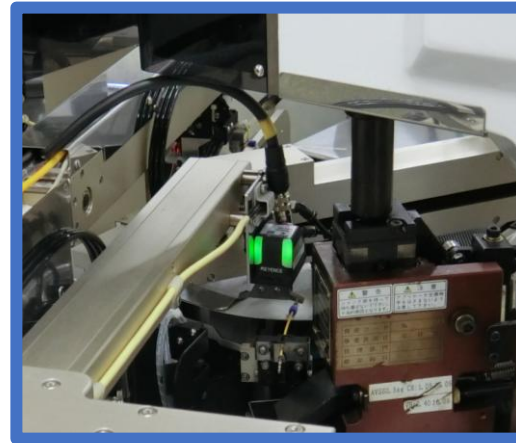


※この画像はメーカー商材写真であり、今回納品したデータセンターとは別の施設です。

小寺電子製作所 AI機能付き画像センサーを搭載した 「全自動端子圧着機用カメラシステム」の販売を開始

小寺電子製作所は、「全自動端子圧着機（キャストグノン）SSAシリーズ用カメラシステム」の販売を開始しました。

AI機能付き画像センサーにより装置稼働中に電線ストリップや圧着状態、防水シール挿入状態を撮影し、高精度での加工不良検出が可能となります。



- AI機能付き画像センサーを搭載したカメラシステムとなっており、電線ストリップ状態や圧着状態、防水シール挿入状態をインラインで高速かつ高精度に全数外観検査が可能となります。
- 圧着端子の変形、電線の浅打ち・深打ち、端子から芯線のはみ出し、防水シールの位置ズレなどの検出が可能です。
- AI機能の活用で対象物の個体差や環境変化、位置ズレなどの安定した検出や1台で複数の検出ツールを組み合わせる事ができるようになります。またAI機能を使った運用データの活用も検討中です。
- 既存のSSAシリーズへの後付けが可能です。
- カメラシステム単体でネットワークへ接続できるため、サーバー上のストレージへ全画像データや良否判定結果を蓄積する事が可能です。それによりトレーサビリティを向上させて、品質保証体制の強化につなげることができます。
- 撮影時にワークを停止させることが無いため、加工速度への影響を最小限に抑えることが可能です。

サノヤス精密工業

2025年11月に着工した新工場の建屋が完成

2025年11月に着工したサノヤス精密工業の新工場建屋が、9月30日（水）に完成しました。

新工場は、生産能力の強化と従業員のよりよい労働環境の整備を目的として建設されたものです。10月2日（金）に清祓式が完了したことを受け、今後は、旧工場から機械・ロボットを運び出しての新工場への設置、旧工場建屋の取り壊しや跡地の整備、新工場のテスト運用などを経て順次生産を行っていきます。

2027年3月中の新工場全体での稼働をめざして、各種移転作業・調整などを進めていく予定です。





サノヤスホールディングス株式会社

「確かな技術に まごころこめて」
人と技術を磨き、新たな顧客価値を創出する

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。